

平成 30 年 10 月月例記者会見

1. 記者会見

【説明】

〔都市公園と障がい者福祉シンポジウム〕

市長 生駒山麓公園では、全国で初めての都市公園の中への障がい者福祉施設の設置を、9月1日からスタートをしています。これを機に今回、シンポジウムを開催いたします。日時は11月12日の月曜日の午後で、生駒山麓公園のこもれび館で行います。具体的には、生駒山麓公園での事例紹介、今回の都市公園法の改正を活用した就労機会の拡大の紹介とパネルディスカッションが主なもので、リオデジャネイロパラリンピックのカヌー日本代表の瀬立（せりゅう）モニカさんに来ていただき、カヌー競技にも力を入れておられるモンベル会長と対談をしていただきます。その後レストランの見学をし、実際に障がい者が就労しているところで軽食などもしていただきます。パネルディスカッションは私がコーディネーターをします。パネラーとしては、厚労省障害保険福祉部の山口室長、国土交通省近畿整地方備局の都市公園専門家の中村調整官、当施設を管理している青葉仁会の榊原さんとモンベルの辰野さんです。取材の方よろしくお願ひします。

〔地域包括ケア推進大会 ～ 人生100年時代あなたはどう生きますか ～〕

市長 ふたつめが「いきいき百歳体操」です。生駒市だけでなく全国各地で体を動かす機会ということまで広がっていますが、その中でも生駒市は非常に熱心に活動を展開しています。市内59カ所67教室で開催し、1,129人が参加しており、1,000人を超えています。これらが全員が集まるフォーラムをやるということです。会場が狭いので百歳体操そのものは出来ませんが、日ごろ積極的に活動している皆さんを集めて、学びの場としてのフォーラムを行います。講演は、武蔵野市が高齢者福祉としては生駒市と同じくらい先進的な取り組みをしているので、担当部長の森安さんに来ていただき、みんなで体操もします。また、90歳以上でいきいき体操に来て頂いている方々を表彰します。あと、活動熱心なグループの紹介など盛り沢山な内容になっております。午後は、少しまじめな市民フォーラムで、1時半から4時まで、西和往診クリニックの尾崎先生に来ていただき、基調講演とパネルディスカッションを行います。パネリストは市内の地域包括ケアの各分野の担い手の方に来ていただき、私も参加します。よろしくお願ひします。

〔IKOMA SUN FESTA〕

市長 三つめが「IKOMA SUN FESTA」です。今年で3回目となります。去年と一昨年は大盛況で、逆に渋滞がひどくなってしまいましたので、今年はバスのルートを変えたりいろいろな渋滞対策も行います。内容はしても昨年までに非常に評価が高かったところも継続的に来ていただきますし、今年から新たに参加のところもあります。たくさんの方が来られると思いますので取材よろしくお願ひします。

〔市民みんなで創る音楽祭〕

市長 4つ目は、これも3年目になりますが、「市民みんなで創る音楽祭」の全体の概要が決まりパンフレットができました。聞きに来てくださる方も増えていきますし、企画される団体も増えており、今年は、17団体から18事業の提案があり、なるだけ多くの団体に参加して頂きたかったのですが、全部

採択するのは非常に難しいということで、11団体11事業を採択したところでございます。

いろんなジャンルの音楽、クラシックのものから小さい子が来ても大丈夫なものまでですが、今年はプロや専門家がされているものをワンコインくらいですが、一部有料にしております。2年前も去年も沢山の方が来場していただいたのですが、今年もそれに負けないようにと思っております。私もできるだけすべてに行きたいと思っております。よろしく申し上げます。

【0才から楽しめるファミリーコンサート】

市長 生駒市民吹奏楽団の「いこまプラス」が10周年を迎えます。生駒市でのお母さん方の団体で、今年それを記念して0才から楽しめるファミリーコンサートを11月にたけまるホールで行われます。10周年のスペシャルゲストで米米クラブの織田（おりた）浩司さんが来られるということでございます。まさに0才の子どもが泣き叫んでいる中でも、にこやかにコンサートをするという、周辺自治体からも来られるということで、たけまるホールでも入りきれないほど非常に好評のイベントです。

【質疑応答】

【子連れで就職説明会】

記者 子連れ就職面接会は、生駒市では初開催ですか。

市長 生駒市では初です。

記者 全国では。

市長 奈良県の中でも奈良市が託児付きの就職面接会をやったことがあるようです。

記者 これに対して市長が期待されることは。

市長 前は、再就職しようとする女性の背中を押すセミナーを開催し、18名の参加がありました。今回はそれを受けて、広く子連れで就職面接を受けられる場を生駒で作っていききたいということです。

期待することは二つありますが、一つは政策形成実践研修の一つの成果です。研修で政策を作る勉強をする座学だけではおもしろくないので、具体的な施策として、担当課と話をしながら、こういう形にしてくれたということはいずれも思います。

もう一つは、生駒市は専業主婦率が高く、女性の就業率が低い地域ですが、仕事に対するポテンシャル、スキルを高いレベルで持っている女性がたくさんいます。その中で再就職される方を応援します。また、今回は託児施設を持っている事業所を選んでいきます。市内でも専業主婦が多くて女性の就業率が低い一方で、市内の事業者さんに聞くと、人手が足りないということが多いため、そのミスマッチが大きくなってきていると思われました。先日も、市役所に北田原工業会テクノエリアの事業所に来てもらって、市役所が間に入って、合同就職説明会的なものを実施しました。市内の人を対象に働きたい人と事業者がマッチングする機会を市役所でも数多く出来たらと思っています。今回は女性に特化した形での機会です。生駒市での再就職の労働の機会をつくる非常に意義のあることだと思います。

【市民みんなで創る音楽祭】

記者 音楽祭は、どうして事業が減ったのですか。予算の関係ですか。

市長 予算は昨年と同じくらいです。以前は1件の予算を少なくしてでも、なるべく手を挙げてもらった団体のほとんどにやってもらっていたのですが、応募数が増えてきましたので、今回は審査をし、いくつか絞るということにした結果、数は去年より減りました。

記者 去年は、提案は何件ですか。

担当課 17団体17事業です。

記者 去年より増えていないと思うんですが。

担当課 音楽祭で会場を抑えるのが多くなり、音楽祭以外の一般の方が施設を使えないという話も合ったので、そこにも考慮いたしました。

副市長 具体的には音楽祭以外にもリハーサルで会場を使うなど、この期間は他の市民が会場を取りにくくなるので、今年は絞って開催することにしました。

記者 有料にしたのは、持続可能な事業としていく主旨があるんですか。

副市長 プロに対してはお金を払ってもらおうということです。市民が主体となる場合は、お金はとれないので無料としています。今回から棲み分けをするということです。

記者 セミプロではないプロは有料ってことで、音楽を生業にしているってことですか。

副市長 そうです。

〔IKOMA SUN FESTA〕

記者 SUN FESTA ですが、無料シャトルバスのルートは特別ルートで渋滞なしで行けるのですか。

市長 去年は阪奈道路でバスが渋滞に合いましたが、今年は宝山寺から回るルートにしています。

記者 それで渋滞にならない。

市長 渋滞はなくなることはありませんが、去年よりは緩和すると思います。また、車を使わずハイキングで来てほしいということも言っています。

〔都市公園と障がい者福祉シンポジウム〕

記者 瀬立さんはメダルを取ってますか。

市長 メダルは取っていません。

記者 なぜ瀬立さんに決めたんですか。

市長 パラリンピアンの何人かに声をかけましたが、海外合宿などタイミングが合わない方などもおられ、調整した結果です。モンベルの辰野さんがカヌーに力を入れているということもあります。

記者 瀬立さんはモンベルと関係があるということではないんですね。

市長 直接の関係はありませんが、カヌーという点でお知り合いではあります。関東在住ですが、モンベルに所属はしていません。学校も都内です。出身地は江東区です。大学は筑波大です。

〔県内初！「いきいき百歳体操」をテーマに1000人が集う〕

記者 100歳体操はみんなで体操するんですか。

担当課 狭い会場でもできる100歳体操を元にしたオリジナルの体操をしてもらいます。

2. その他

〔いこま市民パワー〕

記者 いこま市民パワーの電力を生駒市が買うということは決まっていますか。

市長 今年もいこま市民パワーから買うと思いますが、最終的には決まっていません。

記者 料金をどの程度下げるとかは。

市長 まだ決まっていません。近々そういう打ち合わせは予定しています。

記者 どこかで最終的なことは発表しますか。

市長 去年と同じような形で発表をすると思います。

記者 議会でも話があったが、関電より割高になっていることを含めて、もう少し市民に丁寧に説明

をした方がいいのでは。ちょっと荒っぽいかなあとと思いますが。

市長 これ以上丁寧に報告している市長はいないと思います。必要があればブログなどに書きますが、議会で市の思いはお伝えしたつもりです。必要があれば議会で述べたことなども含めてきちんと説明したいと思います。一部ご理解を得られない方もおられますが、全国的にも評価をいただいているところもありますので、今後もきちんと意義を説明する必要があると思います。議会でも答弁しましたが、全国的なエネルギーの状況などを専門家にも聞いて、短期的ではそうでなくても、中長期的には意義は大きいと思います。中長期的なメリットと短期的なところを見て、やはり短期的なデメリットが大きすぎるといふことであれば、事業自体の改善等を考えていかなければならないと思っています。

記者 短期的なデメリットは少ないし、随意契約を見直すものではないという認識でよろしいですか。

市長 生駒市民パワーの供給している電力の価格が、全国的に見たときにすごく高いとかという場合は、今行われている値下げ競争の本当の意味合いを考えて判断してもらえれば、もう少し建設的な議論ができると思います。

記者 もっと情報を出した方がいいと思いますが。

市長 生駒市は相当出していると思っています。

【県立高校の再編】

記者 県立高校の再編で、奈良市は学校が減ることになり、生駒市の子どもが行くところが減ることになります。生駒市では反応は小さいと思いますが、市長としての考えはありますか。

市長 奈良市の高校に行っている子が多いので、生駒での関心も高いと思います。生駒市長としてそれについてコメントするのは難しいのですが、お子さんを持っておられる家庭に動揺があるのは間違いないと思いますので、県なり関係者から経緯を丁寧に説明いただくことはお願いしたいと思います。

記者 生駒市は公立高校2つ、私学0で、市外に通うのが多いので、結構な影響が出ると思うのですが。賢い子が市外に出ることは大きな影響があるのでは。人材流出ということも含めて。子育てに力を入れているまちとしては、中学までは人材を育ててきても、その後の影響が大きいのでは。

市長 定量的に分析が出来ていないので、今回の再編でどこまで影響があるかっていうのはすぐにはわかりません。

記者 傍観せずに、教育に熱心な家庭が多いと思うので、なんらかの分析なり、対策なりを行政で持ってもいいのでは。

市長 その辺りの分析については、考えたいと思います。

【小中学校へのエアコン設置】

記者 エアコンの話で、幼稚園はまだ未定ですか。

市長 幼稚園も同じタイミングの来年の夏までには対応していく予定です。小中学校だけ先にやって、幼稚園は後っていうのは難しいと思います。

記者 幼稚園も盛り込んでいましたか。予算は。

市長 もともと盛り込んでなかったが、同時にやる方向で考えています。12月議会に出していきたいと思っています。

記者 市立の幼稚園だけですね。保育園もですか。

市長 はい。保育園はついています。

(了)